

令和6年度 草津栗東行政事務組合予算編成方針

1. 経済情勢等

我が国の景気の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。

ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 構成市の財政事情

構成市では、不確定要素を抱えながらも経済活動は回復基調にあり、それに応じて市税収入も増加が見込まれている。一方で歳出面においては、原油価格や物価高騰などに加え、公債費や社会保障関係経費である扶助費の逦増、さらには、定年延長等による人件費の増加など、歳出に占める義務的経費の割合が、高い水準で推移していくことが見込まれている。また、高度経済成長期等に集中的に整備された社会資本の老朽化による維持管理・更新費用の増大により、歳出の増加が見込まれることから、今後も非常に厳しい財政運営が予測される。

3. 予算編成方針

令和6年度の当一部事務組合の予算編成方針は下記のとおりとする。

当組合の歳入については、構成市からの負担金が大半を占めることから、構成市の厳しい財政事情を鑑み、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるよう努めることとする。

火葬場整備事業において、令和6年度は、令和5年度に策定した「(仮称)草津栗東火葬場整備基本計画」に基づき、事業者選定業務等、事業を着実に進めていく年度となる。PFIアドバイザー業務受注者と適切に連携し、費用対効果を念頭に置きながら設計・建設、維持管理・運営を的確に行える事業者を選定し、市民サービスの向上を図るとともに、今後の安定的な財政運営に寄与するように努める。また、国や県の政策や補助施策等の動向に注視し、情報収集を行い、構成市からの負担金の削減に努めることとする。

組合運営においては、組合設立から1年が経過したことから、これまでの取り組みに対する事業成果の検証を行うとともに、必要な改善を図り、可能な限りコストの抑制に努めた上で予算編成を行うものとする。

4. 令和6年度予算の重点業務

- ・(仮称)草津栗東火葬場整備事業 事業者選定業務 (PFIアドバイザー業務)
- ・造成設計業務